



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動. 木材研究 : 京都大學木材研究所報告 1963, 29: 43-43

ISSUE DATE:

1963-02-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/52911>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1962年6～11月)

報 文

- 後藤輝男：木材接着の耐久性 Ⅲ，接着 6 (26)：51～55 (1962) (木材物理第1研究室)
- 後藤輝男：木材接着の耐久性 Ⅳ，接着 6 (27)：45～50 (1962) (木材物理第1研究室)
- 後藤輝男：積層木材について I，Bonded Materials 1 (6)：11～16 (1962) (木材物理第1研究室)
- 後藤輝男：積層木材について II，Bonded Materials 1 (7)：1～8 (1962) (木材物理第1研究室)
- 後藤輝男・川村 緑：木材の空隙充填性接着剤について Bonded Materials 1 (9)：7～13 (1962) (木材物理第1研究室)
- 満久崇磨・佐々木光：Spannungsanalyse bei Holz durch Reißlack-Verfahren. Holz als Roh- u. Werkstoff 20: 303 (1962) (木材物理第2研究室)
- 角谷和男・杉原彦一：木材の破壊までの経過時間のばらつきとこれに及ぼす含水率，応力および温度の影響，材料試験 11：44～49 (1962) (木材物理第3研究室)

講 演

- 後藤輝男：木材接着の耐久性，日本合板工業組合 11月2日 (名古屋) (1962) (木材物理第1研究室)
- 後藤輝男：木材接着に関する因子 (特に木材に関する因子について)，木質材料の接着シンポジウム 11月9日 (大阪) (1962) (木材物理第1研究室)
- 林 昭三：木材接着層の組織学的観察，木質材料の接着シンポジウム 11月9日 (大阪) (1962) (木材生物第1研究室)

- 貴島恒夫：木材への水の浸透経路と浸透の難易について，日本木材学会 木材と水の研究会 9月16日 (名古屋) (1962) (木材生物第1研究室)
- 満久崇磨：パーティクルボードに於ける接着，木質材料の接着シンポジウム 11月9日 (大阪) (1962) (木材物理第2研究室)
- 佐々木光：木質材料の接着力とその疲労試験法，木質材料の接着シンポジウム 11月9日 (大阪) (1962) (木材物理第2研究室)

第4回公開講演会

- (1962年10月25日大阪・第一生命ビル・好文クラブ集会室)
- 林 昭三：接着と木材組織 (木材生物第1研究室)
- 寺谷文之：紙の強度に影響する因子としての繊維結合 (製紙試験研究室)
- 館 勇：リグニンスルホン酸に関する最近の研究 (製紙試験研究室)

そ の 他

- 1962年10月2日 奈良県林務部計画普及課長 高柳正幸氏，同課 久米広久氏，奈良県桜井職業訓練所 平尾勝男氏，
- 11月13日 大阪・高圧ガス工業株式会社社長 中村信之氏，同社技術部長 安井義一氏，
- 11月22日 中華民国立台湾大学農学院森林学系 吳順昭氏，
- それぞれ来所。